

Department of Civil and Environmental Engineering

現代は、自然や文化と調和し、安全・安心・健康で持続性のある快適な環境づくりを求めている。環境土木工学科では、山岳・丘陵・平野・海に恵まれた北陸を主な調査フィールドに持つグローバルな国際開発も意識した地域の建築・道路・鉄道・エネルギー・水道・通信ネットワークなどのインフラの整備、自然や資源を守る地球環境の保全を対象とし、幅広い計画・設計・施工・維持管理ができる専門的な基礎知識を身に付けた人材を育成する。環境技術・防災技術・地域政策を総合的な学びの領域とし、環境を創造できる人材を育成する。さらに、機械系、電気系、情報系の知識を基礎としAIやIoTを土木技術に積極的に取り入れた次世代型の土木技術を応用できる人材を育成する。

※1:  ゾーンの科目は履修クラスによって開講期が異なるので注意すること。
 ※2: 「課程共通」は、「人文社会科学・外国語」、「生涯学習」、「英語」、「数理基礎」、「基礎実技」、「専門科目」の科目群の中から、6単位を修得すること。
 ○付数字は単位数を表す。

- キーワード

安全・安心な市民生活

国土・橋のデザイン

環境・文化の構築
- 学ぶ領域

①土木設計・施工・維持管理

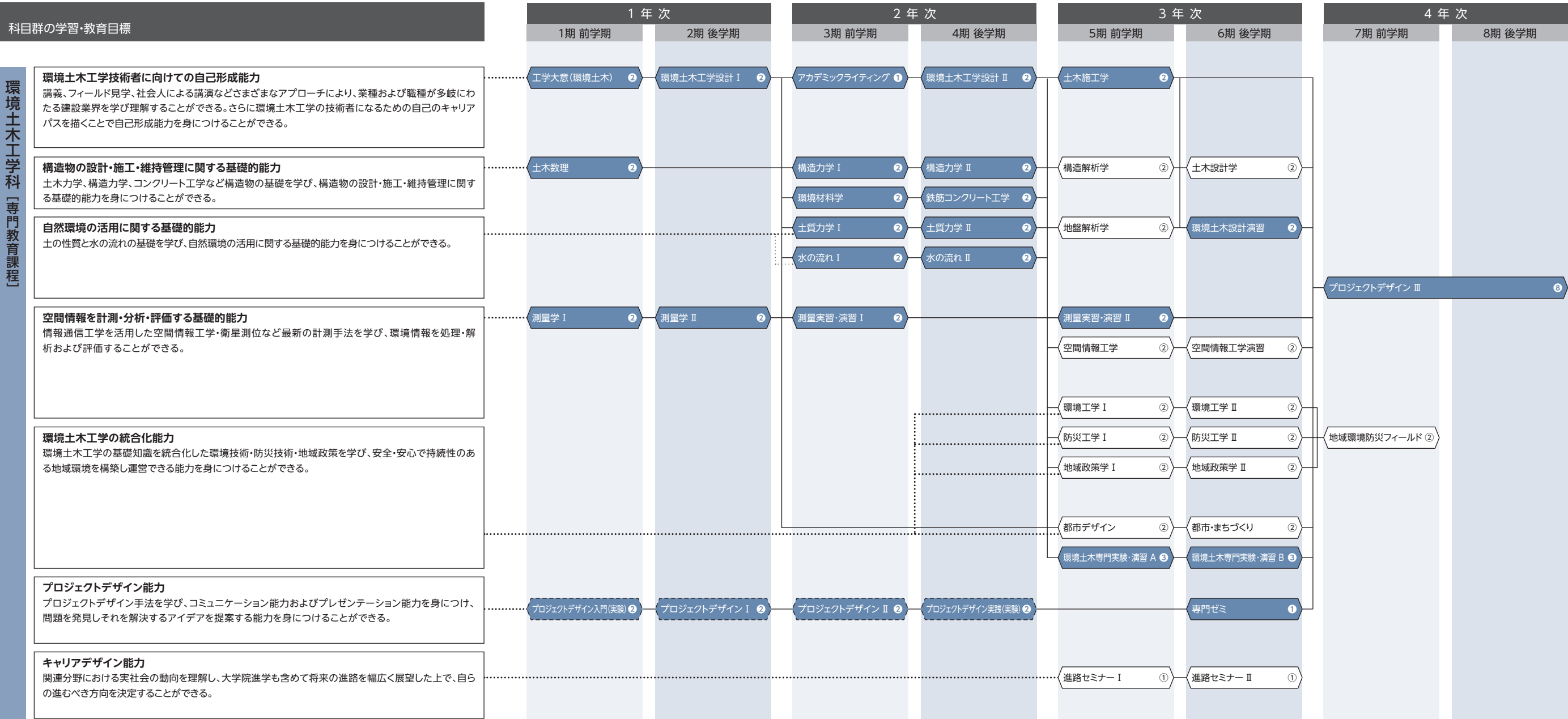
快適で自然災害に強い社会インフラの計画・設計・施工・維持管理などに必要な工学領域を学ぶ。

②地理空間情報

高度情報化社会を構築するGNNS・地理情報システム・電子地図などに必要な工学領域を学ぶ。

③地域・環境計画

地域の環境計画・景観計画・交通計画などまちづくり・国土開発の計画・設計に必要な工学領域を学ぶ。



① 必修科目

① 選択科目

① 他課程の科目